

ライフサポート：はた

幹事会での「学習会」のご報告 (皆さんの、ご参加をお待ちしています！)

NO 24 : 2014. 11. 10

四万十市中村大橋通 7 丁目 1-24
連合高知西地協内 TEL:34-9191
発行責任者：事務局 石井 孝

ご存知のとおり、幡多ライフサポートセンターでは、毎月の幹事会において様々な学習を行っております。(学習会への参加は、何方でも結構です)

10月・11月の学習会は、以下のとおりでしたのでご報告いたします。

10月1日(水)：「シニアの地域における子育て支援について」 9:30～

講師：認定NPOカンガルーの会 副理事長 中西 稔 氏

「カンガルーの会」は、「子育て支援や虐待予防」に取り組んでいる方への研修を行う機関で、会員は県内約50名(医療・保育・教育・施設などの関係者)で幡多にも居られます。

子育て中の方にアンケートを取ると約8割の方が不安を抱えており、その約1割が核家族化の影響もあり、相談する人や支援者がいない状況にあるそうです。



虐待についても、全国で子供60人に1人が受けており、1週間に1人の割合で子供が亡くなっているとのことです。

皆さんの周りにも、現時点では虐待とは言えないまでも、その方向へ行く可能性がある家庭があるかもしれません。ぜひ、近所への一声運動から始めてほしい。

信頼されるのは大変難しいが、気長にお願いしたいとのことでした。



※地域や職場などへの講師派遣も行っているとのことです。機会があれば是非ご利用を！

11月5日(水)：「幡多の観光行政の状況」 9:30～

講師：幡多広域観光協議会 事務局長 橋本龍也

当協議会は、四万十市の観光協会と一緒に四万十物産館の隣の建物で活動しており、高知県を6エリアに分けた一つで、幡多の6市町村で構成されている。

今年の幡多博(6ヶ月)では、146万人が幡多を訪れており前年対比約20万の増の成果があった。

現在、幡多地域の色々な観光資源を観光客は勿論、地元の方にも知ってもらうため「ハタカラBINGO!」というイベントを行っている。

また、全国的にブームとなっている「ゆるキャラ」も右のものを作っており、幡多のアピールのためにも、当協会へ申請していただければ自由に利用可能なので、是非ご利用してほしいとのことです。



このほか、観光客に幡多でより多くの観光を楽しんでいただき、一人当たりの単価を増加させる取り組みも行っており、各団体や地域の方など、多くの皆様のご協力をお願いしたいとのことでした。



はたっぴー